

平成 25 年度後期 **Tadamitsu Kishimoto International Travel Award**
研究発表報告書

申請者氏名	杉山 大介	会員番号	0033013
申請者の 所属・職名	大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 実験免疫学		
出席会議名	Cancer Research Institute 21 st Annual International Cancer Immunotherapy Symposium		
発表論文 タイトル	Anti-CCR4 mAb selectively depletes effector-type FoxP3 ⁺ CD4 ⁺ regulatory T cells, evoking anti-tumor immune responses in humans		

実施結果:

この度、「平成 25 年度 Tadamitsu Kishimoto International Travel Award」に受賞し、その賞金を 2013 年 10 月にアメリカで開催された「Cancer Research Institute 21st Annual International Cancer Immunotherapy Symposium」への参加費用として使用しました。費用は旅行費、現地滞在費、学会参加費です。

本学会は、がんに対する免疫療法の基礎および臨床研究を発表する国際会議であり、最先端な研究成果を知ることができます。本年度では、がん局所のリンパ球の機能や動態をイメージング技術で解析した基礎研究、免疫抑制を解除し癌に対する免疫応答を増強させる抗体療法の臨床研究成果が注目されていました。特に、抗体療法に関しては世界中で注目されている研究であり、米国では抗 CTLA-4 抗体や抗 PD-1 抗体療法による延命効果が報告されています。

その中で、私は「Anti-CCR4 mAb selectively depletes effector-type FoxP3⁺CD4⁺ regulatory T cells, evoking anti-tumor immune responses in humans」という演題でポスター発表を行いました。抗 CCR4 抗体は日本初のがんに対する抗体医薬であり、現在は成人 T 細胞白血病患者の治療薬として使用されています。今回の研究では、抗 CCR4 抗体によって Treg を除去することで癌に対する免疫応答が増強されることを報告しました。ポスターセッションでは多くの大学・海外企業の研究者から興味をもって頂き、今後の進展に期待しているとの声を頂きました。抗体医薬の開発は欧米諸国に遅れをとっているのが現状ですが、本研究成果を報告できたことで日本の抗体医薬の開発力をアピールすることができました。

本学会に参加し最先端な研究を学ぶことができたことは Travel Award の受賞があったからであり大変感謝しております。今後はこの賞を受賞した者として、世界に誇れる研究成果を出し、日本の免疫学研究の発展に貢献していく所存です。